

“ふるさとを愛し、夢に向かって たくましく生きる子ども”



広野っ子



酒田市立広野小学校便り

令和3年11月15日

想いを伝えるポプラ発表会

暖かな日差しの中、11月6日にポプラ発表会を開催いたしました。各学年とも1ヶ月ほど前から準備を開始し、この2週間は体育館ステージなどの割り当てもあって、本番に向けて日に日に学校全体が熱を帯びていく様子を感じられました。各学年とも、毎日の学習の成果を十分に発表することができました。

1年生 劇 「大きなさつまいも」

元気いっぱい大きな声で堂々と発表していました。せりふ一つ一つに気持ちがこもっていて、さつまいもがどんなに大きいかかひしひしと伝わってきました。助け合って、すばらしい劇を完成することができました。最後の歌も楽しそうに歌っていました。



2年生 音楽 「広野のすてきをつたえ隊」

歌と楽器の演奏に加えて身体全部を使って広野のすてきを伝えてくれました。一つ一つを丁寧に表現していて、どんなことを学習してきたのかがよくわかりました。歌も演奏も上手でした。胸を張って堂々と入場した開会の言葉もすてきでした。

3年生 劇 「Let's play English

～英語で遊ぼう～」

ほぼ英語で演じているのがすばらしい。たくさんの英語のせりふを完璧に覚えていました。会場とのやり取りも楽しい英語劇でした。演じる子どもたちが英語を理解して楽しんでいました。将来英語で誰とでも会話できる人になるのが楽しみです。



4年生 音楽 「日本列島ダーツの旅 広野のここがスゴイ～」

音楽にのせて広野について調べたことを表現しました。リズムカルな歌と演奏で、会場全体を大いに楽しませてくれました。手拍子によってステージと会場に一体感が生まれ、大いに盛り上がりました。終始笑顔で歌う姿が印象的でした。

5年生 劇 「にじこメ物語」

短い時間の中にたくさんの情報と表現方法を盛り込んで、それが見事に伝わっていました。場面に応じて演技方や声の出し方を考えて発表で来ています。さすが上級生。米の学習についてまとめたパンフレット（全戸配布）も楽しみです。



6年生 和太鼓 「伝統を繋ぐ北前太鼓」

先輩たちから脈々と受け継いできた北前太鼓。広野小の象徴の一つでもあります。見事な演奏で後輩たちにつなぐことができました。6年生の演奏をまぶしそうに見つめる下級生の尊敬とあこがれのまなざしが、今回の演奏のすばらしさを雄弁に語っています。

出羽人形芝居クラブ 「三枚の護符」

生身の人間ではなく人形を通して表現して、さらに人形を動かす人とせりふを担当する人が別だというのは難しいと思いますが、どんどん引き込まれていきました。地域の言葉を使うということも含めて伝統を後世に伝える大きな取り組みだと思います。



また、広野コミセンには子どもたちの作品をたくさん展示させていただきました。

ポプラ発表会の様子は、本校のブログにも掲載しています。パソコンやスマートフォン、タブレットなどから、[酒田市立広野小学校 ブログ](#) で検索できます。どうぞご覧ください。

学校の働き方改革

「働き方改革」という言葉が一般的に使われるようになって何年になるでしょう。テレビ、新聞、雑誌などでは学校がブラック企業の代表のように取り上げられたりもしています。学校職員は、職種によって異なりますが、教員と事務職員の勤務時間は8時10分から16時40分となっております。しかしながら、なかなかこの時間内にすべての仕事を収めることはできません。そのため、数年前より毎週金曜日を定時退勤日とし、この日だけでもなるべく早く退勤するように努めております（本来は毎日がそうでなければならぬのですが…）。授業や子どもたちへの対応のほかに教職員にはしなければならないことも多く、定時退勤日だけでは大きな改革にならないことも承知しておりますが、私たち自身の意識改革の一環というねらいです。子どもたちにいい授業を提供し、いつでも笑顔で対応することができるようにするためには、まずは教職員自体が余裕を持ちワークライフバランスを整えることが重要と考えます。休日や夜間の保護者の皆様からの緊急連絡の窓口を校長・教頭としているのも同じ理由からです。「教職員が笑顔でなければ、子どもたちの笑顔はあり得ない」と職員一同で共通理解をしているところです。どうぞご承知おきください。